Industrial Arts News

工芸ニュース　　編集・発行　旭川市工芸センター　ASAHIKAWA INDUSTRIAL ARTS CENTER

■Exhibition

- 旭川家具コレクション 2004TOKYO
- 第 50 回旭川家具木工祭 MAKROS
- 第 8 回陶芸フェスティバル

■Training

- デザインパイロット事業講習会
- 塗装講習会
- 技能五輪全国大会家具職種受入れ研修
- 窯業技術研修会

■Information

- 国際家具デザインフェア旭川 2005
- 市民陶芸講習会
- 平成 16 年度工芸センター事業
- イベントカレンダー
- 各種お知らせ
- 職員の異動について

Vol. 68 2004.12

旭川家具コレクション 2004 TOKYO

Slow Living ― じっくりと味わって暮らすしあわせ ―

旭川家具コレクション 2004 TOKYO が平成16年11月23日～25日，東京都大田区産業プラザで開催され，盛況のうちに終了しました。

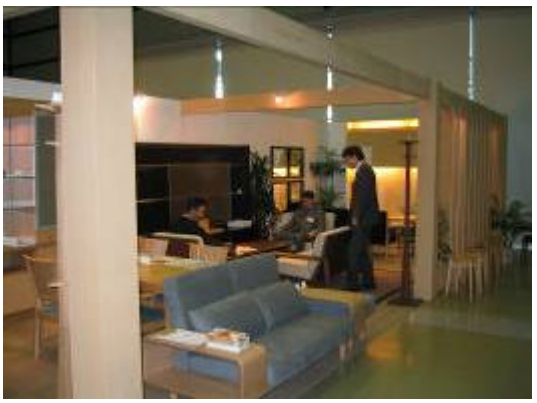
首都圏での展示会開催としては，平成13年～平成15年に横浜市のパシフィコ横浜で3回開催した旭川家具コレクション YOKOHAMA に続く4回目として大田区蒲田で開催されたものです。前回のパシフィコ横浜会場での，3,000㎡に566小間，17社1グループの出品規模に対して，今回の大田区産業プラザでは，会場約1,500㎡に296小間，21社の規模で行われました。

メインの展示会は旭川家具でつくるスローな暮らし「Slow Living」をテーマに，暮らしのシーンを北欧モダンから新和風まで多彩なテイストでインテリアをコーディネートしたものとなっていました。

会期中のイベントとしては，フィン・ユールとハンス・J・ウェグナーの椅子50脚を展示した「デンマークの天才と秀才展」，北海道東海大学教授織田憲嗣氏の講演会「二人の巨匠に見る，北欧のスローリビング」，富良野の限定ワインや旭川の美しく美味しいスウィーツを提供した「大地のカフェ」，旭川で作られたシンプルな子供用家具と玩具を子供達に開放した「キッズグッズランド」などがありました。これらのイベントの効果もあり，会場内は常時にぎわいを見せていました。

会期3日間の総入場者数は1,593人と，昨年の横浜に比べ来場者が若干減少したものの，混雑した場面もあり，会場内の雰囲気には華やいだものがありました。また実質的な商談客が多かったため，出品各者も一様に満足できた印象でした。この要因としては，会場が首都圏に近かったことと，東京国際家具見本市との同時開催による集客の相乗効果があったように思われます。

会　　期：平成16年11月23日(火)～25日(木)
会　　場：大田区産業プラザ［Pio］　大展示ホール
主　　催：旭川家具工業協同組合
来 場 者：1,593名
出品企業：21社



第 50 回 旭川家具木工祭 MAKROS

昭和 30 年から始まった産地卸見本市「木工祭」も回を重ねるごとにその重要性を増し，とうとう第 50 回の節目を迎えることになりました。今回から会期を７月から６月に早め，例年より爽やかな気候のもと開催されるお祭りということもあり，盛りだくさんの企画で来場者を迎え，大変好評のうちに会期を無事終えることが出来ました。

会　　期：平成 16 年６月 16 日(水)～17 日(木)　卸見本市
　　19 日(土)～20 日(日)　一般公開
主　　催：旭川家具展出品協会
　　(旭川家具工業協同組合・旭川商工会議所・旭川市)
来 場 者：2,642 名(うち招待客　959 名)
出品企業：32 社２ｸﾞﾙｰﾌﾟ

・遊創会

恒例のウエルカムパーティー「遊創会」は今年も会期初日の夜に開催されました。

旭川で活躍するジャズシンガーの野外コンサートと北海道の食材を用いた料理をメインとして，初夏の北海道を満喫できるような内容を企画した今回の遊創会は，参加した方々に満足していただけたようです。

遊創会

・こんな家具欲しい！プロジェクト　第２弾

女性エンドユーザーから寄せられるアイディアをもとにメーカーとユーザーが協働で商品を開発する企画「こんプロ」も今回で２回目を迎えました。今回は 15 アイテムが商品化され，こんプロの商品化シリーズ「menomoono(ミーノムーノ)」は合計 23 アイテムとなり，既に第３弾目のプロジェクトも進んでいます。

menomoono 展示

・インテリアコーディネート講座(講師：大谷薫氏)

講師に㈲デザイントークの大谷氏を迎え，インテリアコーディネート講座が開催されました。講座の内容はインテリアを見直すきっかけから，部屋の間取りと配置，コーディネートの部屋別注意点などで，解りやすい説明がされていました。

今後の旭川家具の地元卸見本市の開催予定

○旭川家具コレクション '05
　会　　期：平成 17 年２月 15 日(火)～16 日(水)　卸見本市
　　19 日(土)～20 日(日)　一般公開
　会　　場：旭川家具センター

○第 51 回旭川家具木工祭 MAKROS
　(国際家具デザインフェア事業として開催)
　会　　期：平成 17 年６月 15 日(水)～19 日(日)
　会　　場：旭川家具センター

8th 陶芸フェスティバル
「自然にやさしく，人にやさしく」

「自然にやさしく，人にやさしく」をテーマに，旭川陶芸フェスティバルが平成16年9月25日，26日の2日間にわたって道北地域旭川地場産業振興センターにおいて旭川やきもの協会の主催で開催されました。このフェスティバルは陶芸品の普及とやきもの愛好家の底辺拡大，窯元の技術交流を目的に毎年開催されており，8回目の開催となった今年は，旭川市内の窯元33窯をはじめ，道内各地から過去最高の137窯が参加となりました。

期間中は両日とも天候にめぐまれたことと，事前ＰＲの効果もあり同会場での開催としては過去最高の13,676人の来場者がありました。会場では展示販売のほかに出展窯元による「ロクロ実演」（2日間6回）があり，多くの人垣ができました。また，参加者が実際に土に触れることのできる「陶芸体験」（2日間4回）も開催されました。この体験講習は人気が高く，2日間で79人の方が参加しました。

展示販売会場風景

出展者へのアンケートによる売上調査では，過去最高の販売結果となり，主催者の努力が実った形となりました。

また，共催企画として会場の2階では，やきもの協会々員11名による「旭川やきもの協会展」が開催されました。

なお，平成17年度の開催は平成17年9月24日（土）～9月25日（日）の予定です。

会　　期：平成16年9月25日（土)～26日（日）
会　　場：道北地域旭川地場産業振興センター
主　　催：旭川やきもの協会
来場者数：13,676人（2日間合計）
出展企業数：137窯
出展作品数：約35,000点

陶芸体験講習会

ロクロ実演風景

デザインパイロット事業　講習会

今年度の中小企業集積活性化事業の一つとして実施している，デザインパイロット事業の一環として商品開発講習会を９月14日に開催しました。

本事業で商品開発を行うことになった各企業への講師として招聘した，佐藤裕見氏と武田孝三氏のお二人から，『DMから見るクラフトの歴史と流通について』と『弘前の工芸の現状』の二つのテーマでの講演をしていただき，多くのクラフト業界関係者の方々に参加していただくことができました。

講習会会場

それぞれのテーマでは，佐藤氏からはクラフト商品に 30 年近く携わってきた経験から展示会や流通におけるクラフトの歴史と売れ筋となった商品についての解説などを，武田氏からは地元である弘前で活動している「くえてまてん」というクラフト作家のグループでおこなった作品展の紹介と各作家の作品についての説明がありました。

講演後，講師のお二人と参加者との間で行われた質疑応答では旭川のクラフト業界の現状と展望，作品のデザインに関する質問など幅広く意見交換が行われました。

日　　時：平成16年９月14日　午後６時30分～午後８時30分
会　　場：旭川リサーチセンター　研修室
講　　師：『DMから見るクラフトの歴史と流通について』
　　佐藤 裕見氏　Craft　Planning 代表
　『弘前の工芸の現状について』
　　武田 孝三氏　CRAFT DESIGN WORK TAKEDA　代表
参 加 者：23名

塗装講習会（自然塗料編）

近年の環境，健康問題への意識の高まりにつれて安全性の高い建材，自然素材を原料にした塗料などが注目されています。こうした塗料は，総じて既存塗料と比較して，健康及び環境負荷の少ない，安全性の高い塗料とされています。

自然塗料の安全性や特性について知見を深める目的で，平成 16 年 11 月９日にターナー色彩株式会社の瀧川氏，原田氏を講師に「塗装技術講習会（自然塗料編）」を開催し，64 名の方が受講しました。講義のほか，実際に手板に塗料を塗布し，使用具合の確認や，製品サンプルの観察なども行われました。

日　　時：平成 16 年 11 月９日　午後６時～午後８時
会　　場：旭川市リサーチセンター　研修室
講　　師：『自然塗料の現状と今後の方向性』
　　瀧川隆弘氏
　　（ターナー色彩株式会社 研究開発室研究開発課 課長）
　　原田恵造氏
　　（ターナー色彩株式会社 営業部東京塗料課 課長）
参 加 者：64 名

技能五輪全国大会家具職種受入れ研修

当センターでは，業界の依頼に基づいて研修生の受け入れを行い，技術指導等を実施しています。

今年度は技能五輪全国大会家具部門に出場することになった㈲山田工作所の多田吉宏さんの技能強化研修を実施しました。

普段あまり経験することのない突き板の枡貼りなど，研修中は課題を４回練習しました。研修生の多田さんも練習の中で，技術に対する自信を徐々に深めているようでした。

研修状況

研修日時：平成 16 年９月 29 日
～10 月 15 日（９日間）

研修場所：旭川市工芸センター

なお，第 42 回技能五輪全国大会は，平成 16 年 10 月 22 日～25 日岩手県にて開催され 41 職種 1,077 名が全国各地から集まり職業技術の洗練度を競いました。

多田さんは家具部門 22 名のなかで健闘し敢闘賞で入賞を果たしました。今回の経験を通して広い視野から技能を見直し，その力を自分のものとして確実に増すことが出来たことでしょう。

窯業技術研修会について

地元の窯業関連就業者の窯業技術の向上と，窯業技術者の育成，企業化のための技術・知識習得を目的として，平成 16 年度の窯業技術研修会を平成 17 年２月に開催する予定です。

昨年度に実施した研修会と同様，本年度も実態調査時のアンケートで要望の多かった釉薬技術をテーマにした内容で実施する予定ですので，是非ご参加下さい。

前回の講習風景

日　　時：平成 17 年２月中旬の５日間
　　午後６時 30 分から　（２時間～２時間 30 分程度）
会　　場：旭川市工芸センター　窯業研究室
講　　師：工芸センター職員
受講対象者：・窯元及び窯業企業従事者
　　・陶磁器企業を志す者
　　・陶芸活動の施設等で陶芸指導を行っている者
目　　的：釉薬原料の化学的な知識を習得し，基礎釉の開発と基礎から着色釉への発展の手法を学ぶ事を目的としています。
テ　ー　マ：釉薬講座を研修します。内容については現在計画検討中です。
募集案内：平成 17 年１月中旬頃に関係各位に開催案内および参加申込書を送付いたします。

国際家具デザインフェア旭川 2005

世界のデザイナーとの交流と旭川家具の高度化を目的として，1990 年からスタートした「IFDA（国際家具デザインフェア旭川）」も今回で６回目の開催となります。イベントの中心となるコンペティションは今年（平成 16 年）の６月から作品の公募が開始されております。すでに国内外から多くの作品（12 月 13 日集計：902 点）が集まっています。

また，本審査と入選作品の表彰がある来年度は，シンポジウムやコンペ展など各種の企画が予定されています。

■コンペティション

テ ー マ：木製家具

公募期間：平成 16 年６月１日（火）～12 月 10 日（金）

＊過去の応募数

第１回：472 点　第２回：993 点　第３回：1,353 点

第４回：757 点　第５回（前回）：820 点

審査委員：喜多 俊之氏（審査委員長）

川上 元美氏

渋谷 邦男氏

ハンス・サンドゲーン・ヤコブセン氏（デンマーク）

グニラ・アラード氏（スウェーデン）

ユン・ヨハン氏（韓国）

①予備審査	平成 17 年１月 27 日（木），28 日（金）
②応募作品閲覧会	平成 17 年１月 29 日（土）
③本審査	平成 17 年５月６日（金），７日（土）
④入賞・入選作品展	平成 17 年６月 15 日（水）～ 会場：旭川家具センター

その他の開催イベント(予定)

■デザインシンポジウム

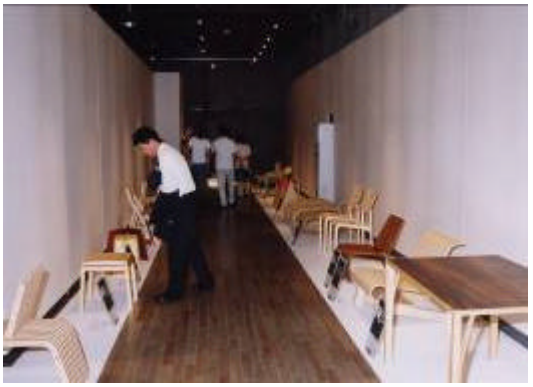
会　　期：平成 17 年５月７日（土）

会　　場：大雪クリスタルホール

内　　容：海外審査委員による講演会

※詳細については IFDA2005 の公式 WEB サイトもご覧ください。

URL　http://www.asahikawa-kagu.or.jp/ifda/



市民陶芸講習会

市民の方にやきものを作る楽しさと陶磁器の持つ人と環境に対する優しさへの理解を深め，陶磁器製品および市内窯業企業への理解と関心を高めていただくことを目的として，市民陶芸講習会を７月，８月，９月に開催し，各講習日に午前・午後２回ずつ実施し，延べ６回の講習で合計 90 名の方が受講されました。

制作実習風景

講習では各月ごとに設定したテーマに沿った作品製作実習の説明と共に，陶磁器に対する理解を深めていただくため，陶磁器の持つ性質・役割・歴史・機能・必要性等の説明を行いました。また，実習で製作した作品の乾燥・素焼焼成・釉薬掛け・本焼焼成等についての説明リーフレットを製作し配布を行いました。

参加した方からは製作方法や陶磁器に関した熱心な質問もあり，その説明を行うことで，より理解を深めていただけたと思います。

講習日	制作テーマ	対象	参加件数	講師
7月30日 (日)	－親子で陶芸を楽しもう－ 「カレー皿の制作」	保護者と 小学生以上	午前・午後 合計 32 名	工芸 センター 職員
8月26日 (火)	－秋を先取りしよう－ 「さんま皿の制作」	18 歳以上	午前・午後 合計 29 名	
9月25日 (火)	－クリスマスプレゼントを作ろう－ 「マグカップの制作」	18 歳以上	午前・午後 合計 29 名	

平成 16 年度の工芸センター事業について

平成 16 年度に計画，実施されている研究開発，展示会等の支援，業界実態調査等の事業のうち主なものは次のようになっています。

- **和みの生活提案**
  「和み」テーマとした生活空間から考える家具等のデザイン開発。
- **小家具・小木工品のデザインパイロット事業**
  小家具・小木工品関連の企業を対象とした商品開発手法の検討。
  （新商品開発，既存商品のリ・デザインなど）
  研修・講習の実施と講師招聘により参加各企業の新商品開発を支援。
  （４ページに同事業で実施された講習会の記事を掲載）
- **旭川家具などの品質基準に関する調査研究。**
  家具，建具等木製品の試験基準，規格等の調査。
  扉・引き出し等の繰返し試験についての検討と試験機の製作。
- **地元展示会開催支援**
  第 50 回旭川家具木工祭 MAKROS　（２ページに実施報告を掲載）
  旭川陶芸フェスティバル　（３ページに実施報告を掲載）
  旭川家具コレクション '05
- **道外展示会開催・参加支援**
  旭川家具コレクション 2004 TOKYO　（１ページに実施報告を掲載）
  東京インターナショナルギフトショー　春 2005
- **国際家具デザインフェア旭川開催支援**　（６ページに紹介記事を掲載）
- **窯業技術研修会**　平成 17 年２月に実施予定　（５ページに予告記事を掲載）
- **家具，小木工，建具，窯業各業界実態調査**
  春～秋季にかけ各業界の企業を対象に訪問，調査票の郵送等で調査を実施。

これまでの当センター事業に対するご理解とご協力を感謝するとともに，今後もよろしくおねがいいたします。

木工用・窯業用機械のご利用について

企業の方を対象に木工用，窯業用機械をご利用いただいていますが，最近，機械をご利用される方が増えております。効率良くまた安全にご使用して頂くために次の点につきましてご協力とご理解をお願いいたします。

1．使用する機械が空いているか，必ず前日までに電話等で確認・予約をお願いいたします。
2．使用前には1階事務室にお立ち寄りください。
3．前日までに予約が無く直接こられた場合使用できないことがあります。
4．使用者間の話合いでのご使用はご遠慮ください。
5．予約申込み以外の機械を使用するときは，必ず職員に確認・承諾を受けてください。
6．充分乾燥していない木材の機械使用は集塵機等の故障の原因になりますのでご遠慮ください。
7．機械が故障，破損しないように，また安全に使用して頂くために無理な使用はご遠慮ください。

なお，木工用機械についての問合せが増えております。問合せの多い内容については次のとおりですので参考にしてください。

- **自動かんな盤**　利用幅：600 ㎜まで，厚さ：150㎜以下
- **ワイドベルトサンダー**　利用幅：650 ㎜まで，厚さ：2.7㎜以上　150㎜以下
- **長円ほぞ取機**　ほぞ寸法　丸ほぞ：最小4㎜　最大30㎜
  ほぞ幅：最大100㎜ ＋ 材料の厚み
  ほぞの深さ：最大50㎜
- **自動長穴明機械**　ルーターピットを持参ください。（シャンク12㎜径）
  最大加工穴長さ：120㎜
  最大加工穴深さ：80㎜
- **炭酸ガスレーザ彫刻システム**　813㎜ × 457㎜

機械の使用方法など詳しくは職員にお尋ねください。また家具等の各種試験あるいは試験機器の開放も行っておりますのでご気軽にご相談ください。

ケガをしないように安全に，気持ちよくご使用頂くために
お気付きの点がありましたら，職員にお申しつけください。

図書コーナーのご案内

1階事務室には図書コーナーを設けてあります。コーナーにおいてある書籍の他にも木工・窯業等の関連書籍を蔵書しているほか，雑誌についてはバックナンバーも保存しております。

図書コーナーの書籍の閲覧に関しましては，当センターの業務時間は常時可能な状態になっておりますので，お気軽にご利用ください。また，その他の蔵書の閲覧，および全ての図書の貸し出しにつきましては手続き等必要な場合がありますので詳しくは職員におたずねください。

図書コーナーに蔵書している主な雑誌

図　書　名	ジャンル	図　書　名	ジャンル
室内	インテリア	塗装技術	塗装
モダンリビング	インテリア	木材工業	木材加工
コンフォルト	インテリア	炎芸術	窯業
日経アーキテクチュア	建築		

試験のご依頼について

近年，消費者からの製品に対する要望は多様化と高度化が進み，信頼性の面での要求も大きな比重を占めてきています。当センターではこれらの重要性を踏まえ，地元の木製品製造業，窯業を営む皆さんが自社製品の性能・信頼性といった品質の確認や改善をサポートすべく各種設備による試験業務を行っています。

木工製品分野については材料，接着剤，各種部品に関する強度試験をはじめ，製品の強度・耐久性試験及び環境試験などの機器を揃えており，また窯業製品分野に関しても吸水試験，耐圧試験および焼成試験などの機器を揃え，各試験の受け付けを行っています。

確認をしたい項目，内容などに関しての事前の相談業務も行っており，できる限りご要望に対応できるような体制をとっておりますので関心を持たれた際にはお気軽に当センターへご連絡ください。

なお，木工製品に関しましては以前「家具関連品質試験マニュアル」を配布しています。これは家具製品に関係する各種規格についてどのような試験項目があるのかを簡単にまとめたものです。製品試験を申し込まれる際，試験内容を決める際の参考としてご利用いただくと便利かと思います。

旭川市工芸センター運営委員会について

旭川市工芸センター条例により外部の関係機関，団体，教育機関等からの推薦に基づく委員で構成された運営委員会を設置しており，当センターの運営や事業計画の策定に関して業界団体，関係機関からの意見を広く聴く機会として開催されております。

委員の任期は2年となっており，現委員の方々の任期は平成15年12月1日から平成17年11月30日までとなっております。

【業界代表】

旭川家具工業協同組合
桑原　義彦

旭川家具工業協同組合
渡辺　直行

旭川建具事業協同組合
三浦　邦昭

北海道ｲﾝﾃﾘｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ協会道北支部
多村　佳志子

旭川クラフト普及協会
上村　弘三

旭川陶芸協会
小木　美則

【学識経験者】

北海道立林産試験場
金森　勝義

北海道立北方建築総合研究所
山田　博人

北海道東海大学
林　拓見

国立旭川工業高等専門学校
橋本　直樹

旭川大学
小野﨑　保

旭川市工芸センター運営委員会は旭川市の市民参加推進条例に基づき公開しております。傍聴者は市民の方を対象としており定員は10名となっております。なお，今年度の委員会につきましては平成16年4月28日に開催されました。

イベントカレンダー

平成17年に開催が予定されている当センター関連のイベントには次のようなものがあります。

開催時期	イベント名	開催場所
2月 15日～16日 19日～20日	旭川家具コレクション　'05	旭川家具センター
2月 15日～18日	第59回東京インターナショナル ギフト・ショー　春2005	東京ビッグサイト
6月 15日～19日	第51回旭川家具木工祭 MAKROS	旭川家具センター
	IFDA国際家具デザインフェア旭川2005 入賞・入選作品展	
6月 14日～26日	2005旭川クラフト展	デザインギャラリー
9月 24日～25日	9th旭川陶芸フェスティバル2005	道北地域旭川地場産業振興センター

平成16年の工芸センター職員異動

前回の工芸ニュースVol.67（2004年1月発行）から，これまでの間に次のような人事異動がありました。

退職・・・田中　重充（事業係，3月），関口　希（事業係，6月）
転出・・・川辺　英行（技術開発係→商工観光部産業振興課，4月）
　　西村　智也（技術開発係→水道局営業部料金課料金収納係，4月）
転入・・・秋山　永（技術開発係←環境部環境対策課環境対策係，4月）

◎新職員からの挨拶

技術開発係　秋山　永　事務吏員

４月に，環境部環境対策課環境対策係から，当センターの技術開発係に配属になりました。

私は，植物が大好きなので，木や土に関わることができる職場にいられて，幸せを感じています。また，自然の中を散歩することも好きですが，「家」好きなので，きれいな家具などに触れられることも大変嬉しく思っています。

ものづくりやその販売のことなどに関しては，何もわからない状態からのスタートです。でも，できるところから，みなさまのお役にたてるように，そして，できるだけ早く一人前になれるようにがんばっていきたいと思います。

マイペースなところがありますが，できるだけ建設的にやっていこうと思いますので，どうぞよろしくお願いいたします。

工芸ニュース　第 68 号　　発行年月／平成 16 年 12 月　　発行／旭川市工芸センター

〒078-8801　旭川市緑が丘東 1 条 3 丁目 1 番 6 号　旭川リサーチセンター内
TEL：0166-66-1770　　FAX：0166-66-1776
E-mail：kougeicenter@city.asahikawa.hokkaido.jp
U R L：http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/kougeicenter/index.html